ドン 情熱価格 × Hisense

取扱説明書

保証書付き

全自動電気洗濯機 (家庭用)

品番 **PJW-G75C**





日本国内専用

お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

とくに「安全上のご注意」(☞ 4、5 ページ) は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見ることができる場所に保管してください。

もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意 4

洗濯の流れ 6

洗濯物の確認と準備.....7

洗濯できないもの 7
洗濯物の準備 7

ご使用の前に 8

ふたロック 8
チャイルドロック 8

各部の名称 9

本体..... 9
付属品..... 9
別売品..... 9
操作パネル部 10

コースを選ぶ 12

洗濯物の重さの目安..... 12
すすぎの種類 12
お好みの設定..... 13

洗剤・柔軟剤（漂白剤・粉石けん）の投入について 14

洗剤などを入れるタイミング 14
使用量の目安 14
洗剤の入れかた 15
柔軟剤の入れかた 15
漂白剤の入れかた 15
粉石けんの入れかた..... 15

使いかた

洗濯のしかた 16

標準・つけおき・おいそぎ・念入りコース 16
自分流コース 17
洗い・すすぎ・脱水の個別設定
お好みの設定 17
毛布コース・ドライコース 18
予約して洗濯する 21
洗濯～風乾燥までを自動でする 22
風乾燥をする 22

便利な使いかた 23

のり付け..... 23
終了時の電子音の設定..... 23





お手入れ

お手入れ.....24

槽洗浄（洗濯・脱水槽を洗う）.....24
本体・槽の清掃.....24
洗剤投入ケース.....25
糸くずフィルターの清掃.....25
給水口の清掃.....26
もしもの場合.....26



必要なときに

据え付け.....26

①設置場所.....26
②排水ホースの設置.....28
③水平を確認する.....29
④給水ホースの接続.....30
⑤アースについて.....31
⑥電源（コンセント）について.....31
⑦試運転について.....31

故障かな？！と思ったら.....32

アフターサービスについて.....35

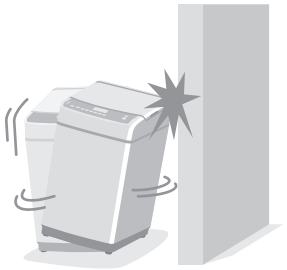
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について.....35

仕様.....裏表紙

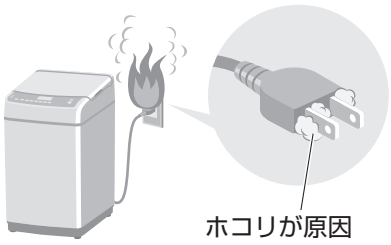
※この取扱説明書の図やイラストはイメージです。
製品とは異なる場合があります。

安全上のご注意

お使いになるご本人や周囲の人々への危害・物的損害を未然に防止するため、この「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。



●本体の激しい振動・転倒による壁などの損壊



●電源プラグからの発火（トラッキング現象）

⚠ 警告

お子様の事故を防ぐ

- ●幼児には洗濯・脱水槽をのぞかせない
- ●洗濯機の近くに台などを置かない
  洗濯・脱水槽の中に幼児が落ちてけがをしたりおぼれたりする原因になります
- ●判断能力が不十分で補助を必要とする方やお子様に単独で洗濯機を使わせない
- ●洗濯機で遊ぶことがないように、お子様の動きに気を付ける

電源プラグ・電源コードの発火や漏電を防ぐ（感電・ショート・発煙・発火・火災のおそれ）

- ●電源コードを束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない
- ●電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
- ●お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く　ぬれた手で抜き差ししない
- ●電源コードが破損した場合、電源コードやプラグはお客様ご自身が分解したり修理したりしない

- ●定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを単独で使う
- ●電源プラグは根元まで確実に差し込む
- ●電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はよく拭く
- ●電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く
- ●長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントより抜く

アースを取り付ける（漏電時に感電のおそれ）

- ●工事は販売店に依頼してください
  （工事費は本体価格に含まれていません）

本体の故障や事故を防ぐ（感電・けが・電気部品の損傷・本体の転倒・ふたの（ガラス部の）割れや傷のおそれ）

- ●家庭用なので、業務用目的で使用しない
- ●浴室・シャワー室などには据え付けない
- ●風雨にさらされる所には据え付けない
- ●本体各部に直接水をかけない
- ●火気を近づけたり、たばこ・蚊取り線香・熱いやかんなどを洗濯機のそばに置かない　火災や変形の原因になります
- ●改造は絶対にしない　またお客様ご自身が分解したり修理しない
- ●カーペットなどで、本体下の通気口を塞がない　故障や火災の原因になります

運転時の爆発や火災を防ぐ（油などの酸化熱による自然発火や引火のおそれ）

- ●洗濯・脱水槽には、絶対に灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどや、それらの付着した洗濯物を入れたり、近づけたりしない　爆発や火災の原因になります

感電・漏電・ショートによる火災を防ぐ（感電・発火・火災のおそれ）

- ●本体が動かない、煙が出ている、変なにおいがするなど異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検、修理を依頼する

洗濯・脱水槽への巻き込まれを防ぐ（ゆるい回転でも洗濯物が手に巻き付いてけがのおそれがあります）

- ●洗濯・脱水槽の回転が完全に止まるまでは、絶対に中の洗濯物や洗濯・脱水槽に手を触れない　とくにお子様にはご注意ください

■表示の分類　本書では、必ずお守りいただく事項を以下のように分類しています。

⚠ 警告　人が死亡または重傷を負うなど、重大な損害を受ける可能性がある内容を示します。

⚠ 注意　人が負傷したり、物が破損する可能性がある内容を示します。

■図記号の意味

⃠ してはいけない内容を示します。

❗ 必ず実行しなければならない内容を示します。

⚠ 注意

けがや、本体の損傷を防ぐために

⃠
- 運転中、洗濯機の下に手や足を入れない
- ロックされた状態のふたを無理に開けない

異常振動による、本体・周囲の損傷を防ぐために

⃠
- 防水性マット･シートや衣類は、洗い･すすぎ･脱水・風乾燥をしない

■防水性・繊維製品の例
（釣具ウェア、スキーウェア、雨合羽、寝袋、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、紙おむつ、防水性マットなど）

水漏れを防ぐために

❗
- 洗濯前に水栓を開いて、給水ホースの接続を確認する
- 使用しないときは、水栓を閉じておく

本体の損傷による故障や、水漏れ、けがなどを防ぐために

⃠
- 洗濯機の上にのぼったり、重いものを載せたりしない
- 洗濯のとき、50℃以上のお湯は使用しない
- 使用中に電源プラグを抜かない、電源を切ってから電源プラグを抜く

洗濯物の損傷を防ぐために

⃠
- 洗濯する前に、ヘアピン、コインなどをポケットから取り出す
- 洗濯物のひもなどは結び、ファスナー・ボタンは閉める

その他

- ラジオやテレビなどを近づけない（雑音・映像の乱れの原因）離れたコンセントを使う
- 井戸水をお使いの場合、水質により、異物の混入・黒カビなどが発生し、故障の原因になります

洗濯の流れ



事前の準備　洗濯物の確認と事前の準備（☞ 7 ページ）

水栓を開ける

1・洗濯物を入れる

洗濯物を入れる



2・電源を入れる　切/入

電源を入れる

自動センシング運転：洗濯物の量を検知し、水量･時間など自動で設定し、運転するモードです。

お好み運転：水量や洗い時間などを、ご自分で設定し運転するモードです。

3・コースを選ぶ　コース

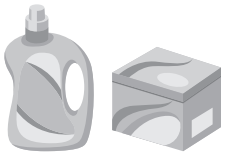
洗濯内容にあったコースを選ぶ

選択したコースで、すすぎ、脱水内容を変更したい場合は変更する。（自動センシング運転）

お好みで洗う場合は水量ボタンを押し、項目ごとに変更する。（お好み運転）（☞ 12 ページ）

4・スタートする　スタート 一時停止

スタートする



5・洗剤を入れる

洗剤・柔軟剤を入れる（☞ 14 ページ）

6・ふたを閉める

●ふたを閉めると給水が始まり、洗濯を開始します。（ふたを閉めないと洗濯は始まりません）

洗い

すすぎ

脱水



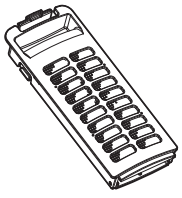


●脱水終了後、風乾燥運転も選べます。（2 kgまで）部屋干しの時間を短縮できます。（☞ 22 ページ）

7・洗濯物を取り出す

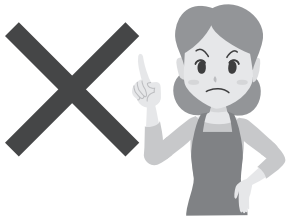


お手入れをする
（☞ 24 ～ 26 ページ）



洗濯物の確認と準備

洗濯できないもの



次の取扱絵表示が付いているもの

家庭での洗濯禁止の表示

石油系溶剤のドライクリーニング表示

変色・かたくずれ・傷みの原因

- 絹・レーヨン・キュプラ、それらの混紡品
- 和服・和装小物品

かたくずれするもの・毛倒れの原因

- ネクタイ・スーツ・コート
- 皮革・毛皮・羽製品およびそれらの装飾部付のもの
- ベルベットなどのパイル地製品

傷み・故障の原因

- 裏面にゴムが付いている玄関マットなど敷物類
- 防水性製品
- コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工品
- 強撚糸（強くねじった糸）を使用した製品
- わた・スポンジの座布団・枕・クッションなど

洗濯物の準備

衣類の前処理

- **ポケットの中を確認**
  お金や、メモ紙などがないか確認、とくに硬貨やヘアピン、など注意して取り除いてください。
- **衣類のひも・ファスナーは閉める**
  洗濯物の絡みや傷みの原因になります。
- **ひどい汚れの前処理**
  しみや、ひどい部分汚れは、事前に洗剤をつけ、ブラシなどで一定方向にこすり取ることが効果的です。放置すると汚れが取れにくくなります。
- **大きなゴミを取る**
  大きなゴミ、髪の毛やペットの毛などは取り除いてください。砂や泥もよく払ってください。
- **毛玉の付きやすいものは裏返す**
  毛玉のできやすい衣類は裏返すと、洗濯中のこすれが少なくなります。

洗濯物の入れかた

- **かさばるもの、浮きやすいものは最初に入れる**
  ジャンパーやフリースなど化繊・混紡でかさばり、軽めのもの、靴下ハンカチなどの小物類などは最初に入れて上から押さえてください。衣類や水が飛び出すことを防止します。

洗濯物の仕分け

- **色落ちしやすいものは分け洗い**
  色物・柄物などで、色落ちしやすい衣類は分けて洗ってください。とくに白物と一緒に洗うと色移りする原因になります。
- **糸くずが気になるもの**
  タオル、バスタオル、フリースなどは、分けて洗濯してください。とくに糸くずが出やすい素材は、市販の洗濯ネットに入れて洗濯してください。
- **デリケート衣類や小物**
  レースの付いた洗濯物、ブラウス、ストッキング、タイツなどは、洗濯ネットに入れて洗濯してください。
  ワイヤー入りブラジャーは、ブラジャー専用ネットに入れて洗濯してください。





ご使用の前に

まず据え付け状況の点検をし、安全上のご注意を守ってお使いください。
水漏れや排水異常などの問題があるときはお買い上げの販売店または施工業者にお問い合わせください。

洗濯機は安全のため、ふたをロックする機構が付いています。故障ではありません。
小さいお子様のいる家庭などではチャイルドロックも使用できます。

ふたロック

安全のため、洗濯運転が開始されると、ふたが自動でロックされ、ふたロックランプが点灯します。

運転中にふたを開けたいときに



を押して、一時停止させると、約10秒後にロックが解除されます。ふたロックランプ消灯後ふたを開けてください。



ふたロックランプが点灯中は無理にふたを開けないでください。
故障・破損のおそれがあります。

チャイルドロック

お子様の事故を防ぐために、運転中も、電源を切った後もふたが開かないようにする設定です。



電源・入



を５秒間押す。ピッと鳴り“CL”が表示されチャイルドロックランプが点灯



ロックを解除せずに、電源を切るとランプも消灯しますが、ロックは解除されません。

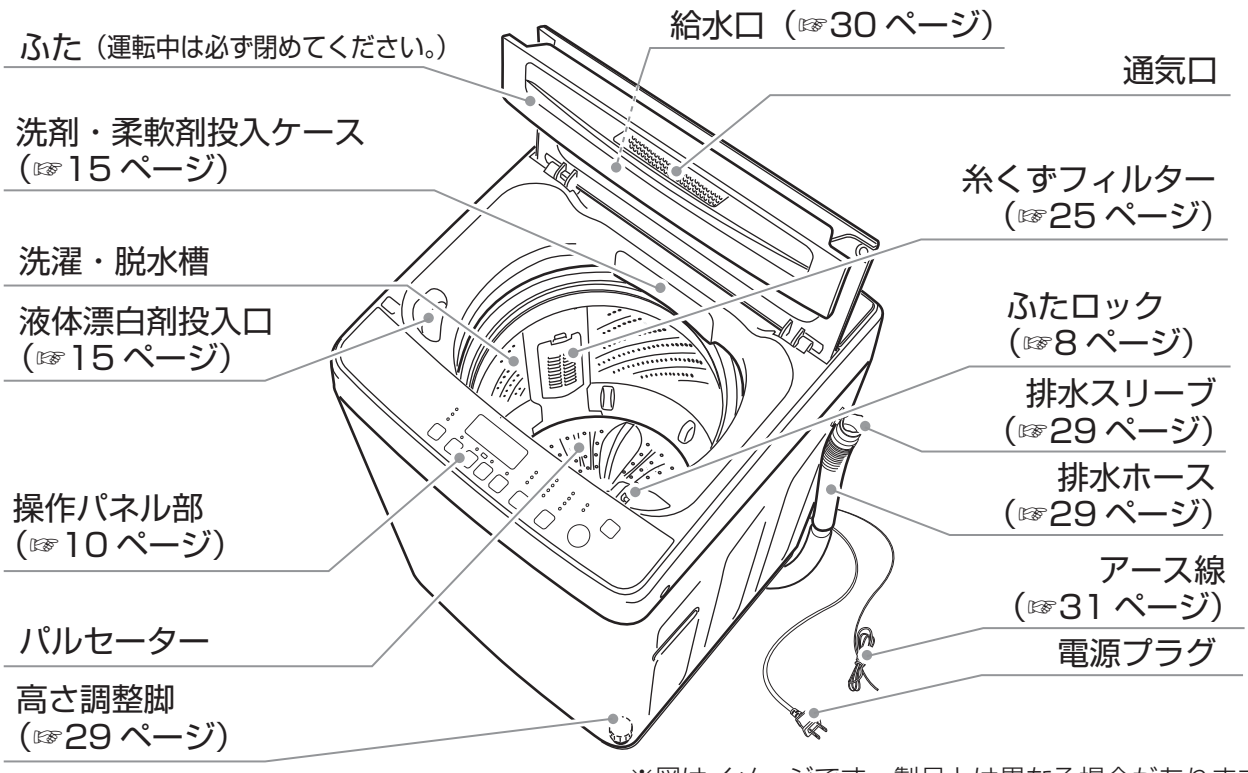
チャイルドロックを解除するには



を５秒間押す。ピッと鳴りチャイルドロックが解除されランプが消灯します。

各部の名称

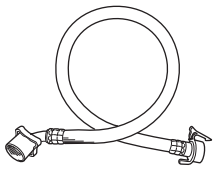
本体



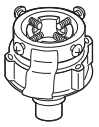
※図はイメージです。製品とは異なる場合があります。

付属品

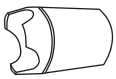
給水ホース
（☞30, 31 ページ）



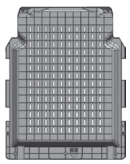
給水つぎ手
（☞30, 31 ページ）



排水スリーブ
（☞29 ページ）



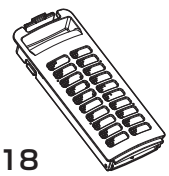
底カバー
（☞27 ページ）



別売品

糸くずフィルター（☞25 ページ）

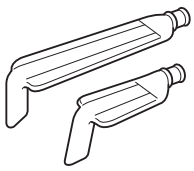
糸くずフィルターは消耗品です。
やぶれたり、破損したときは
交換してください。



別売部品　部品コード：1931518
希望小売価格 1,100 円（税込）
（2024 年 8 月現在）

真下排水パイプ
（L 型 2 本一組）（☞29 ページ）

排水口が本体の下にある場合、
真下排水パイプをお買い求めください。



別売部品　部品コード：2078599
希望小売価格 1,650 円（税込）
（2024 年 8 月現在）

各部の名称　操作パネル部

お知らせ表示について



設定・動作時は、ボタンの上のランプが点灯します。

①電源を入れたときの表示



電源を入れたときは標準コースの状態が表示されます。洗い時間は洗濯物の量のセンシング前なので－－、すすぎ設定は 1 回、脱水は 8 分の意味です。コースを変更すると表示が変わります。

②自動センシング運転で洗濯する

すすぎ回数・脱水時間を変更したいときはボタンを押して変更→詳細右ページ

スタート 一時停止 を押しセンシングがスタートします。

※自動センシング運転は洗濯物の量を検知して洗濯水量や、洗濯時間を設定するため、洗いボタンを押すと自動でのセンシングが中止され、洗いのみの表示となるのでご注意ください。

●お好み運転を設定したい場合

①の最初の表示状態で、**【水量】**ボタンを押すと、お好みの設定が可能です。

設定終了後 スタート 一時停止 で④の表示となります。

洗濯物検知時、水量ランプは上下に移動しながら点灯し、検知が終わると使用する水量で停止します。（水量は 27L・42L・57L から選択されます。）
※標準・つけおき・おいそぎ・念入り・自分流コースの場合

③洗濯物の量を検知しているときは左側の水量ランプが上下に移動します。



センシングの状態

④検知後、左側の水量ランプが点灯表示され、残り時間が表示されます。

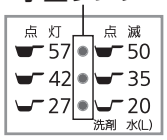


洗濯終了までのおおまかな時間の目安です。給水･排水時間などにより変化します。

水量ランプ

水量に合わせライトが点滅もしくは点灯します。詳しくは水量ボタンの説明をご覧ください。

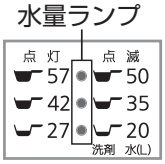
水量ランプ





水量ランプ

水量ランプ



洗濯物量の検知後や、コースで設定した水量を表示します。洗剤投入時の洗剤量の目安として使います。ランプ点滅はランプの右側、点灯はランプ左側の数字が水量（L）です。

水量ボタン

電源を入れた後、「水量ボタン」を押すと、お好み設定の画面になり、42L ランプ点灯が表示されます。この状態でお好みの設定をします。
お好みで、水量を変更する場合、ボタンを押すとランプが点灯し
50L → 57L →
20L → 27L → 35L → 42L と点滅・点灯で表示します。
自動で表示する最低水位は 27L です。手動では 20L が選択できます。

風乾燥ボタン

洗濯コースのあと、続けて設定する場合、風乾燥ボタンを押し、30 分～ 150 分で設定します。
（☞ 22 ページ）



風乾燥だけを設定する場合は、ボタンを 3 秒間押します。上図のように 0:30 と表示され風乾燥以外のランプが消灯します。（☞ 22 ページ）

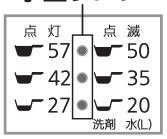
お好み運転の設定（水量・洗い・すすぎ・脱水・予約ボタンについて）

● 標準・つけおき・おいそぎ・念入り・自分流のコースでは、最初に**【水量】**ボタンを押すことで「洗い」「すすぎ」「脱水」「水量」の設定を変更できます。左図①の電源を入れた状態で**【水量】**ボタンを押すと下図⑤のお好み設定の表示に切り替わります。この表示は各コースの初期設定状態の表示です。（☞ 13 ページ）

※洗濯開始後に設定を変更したい場合は、スタート／一時停止ボタンを押すと設定表示になります。（変更は洗い工程終了まで可能）

「洗い」「すすぎ」「脱水」「水量」の設定されている上部のランプが点灯します。各ボタンを押すとそれぞれ設定の変更が可能です。（☞ 13 ページ下）

水量ランプ



⑤お好み設定の表示

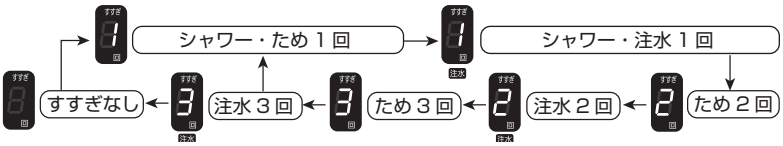


注水すすぎのときは、「注水」ランプが点灯します。

【水量】ボタンを押すごとに、水量が変化します。詳細は左ページの下水量ランプ参照
水量にリンクして洗い時間も変化します。

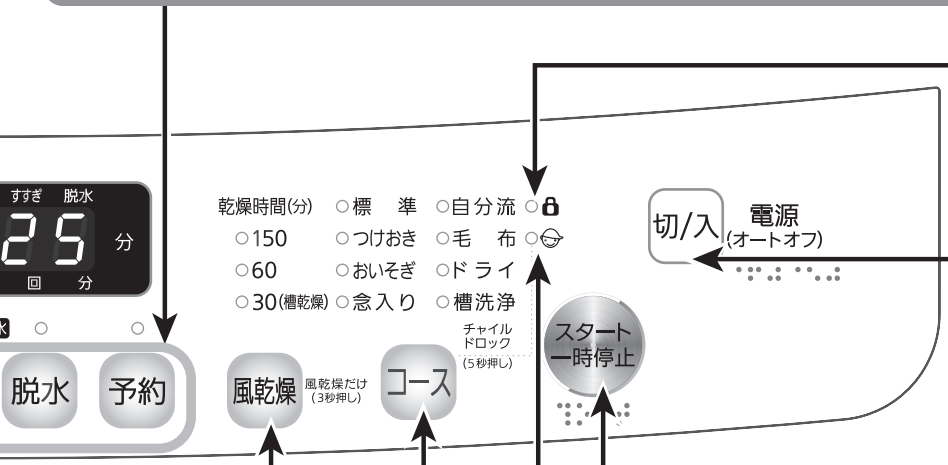
【洗い】ボタンを押すごとに、洗い時間が 1 分から 15 分まで変わり、さらに押すと上部のランプが消灯し洗いがなくなります。

【すすぎ】ボタンを押すごとに、すすぎ回数、すすぎ方法が変わります。さらに押すと、上部のランプが消灯し、すすぎがなくなります。



【脱水】ボタンを押すごとに、脱水時間が 1 分から 8 分まで変わります。さらに押すと上部のランプが消灯し脱水がなくなります。（洗い・すすぎ・脱水のいずれかの設定が必要です。すべての設定解除はできません）

【予約】洗濯終了時間の設定ができます。設定するとランプが点灯し、スタートするとランプが点滅します。（☞ 21 ページ）



ふたロックランプ（☞ 8 ページ）

電源（切／入）ボタン

電源の入り切りをします。

■オートオフ機能

洗濯後、自動的に電源が切れます。
電源を入れてスタートしない場合、約 10 分経過すると、自動的に電源が切れます。

スタート／一時停止ボタン

運転を開始します。運転中に押すと、一時停止します。もう一度押すと、一時停止した状態から再開します。

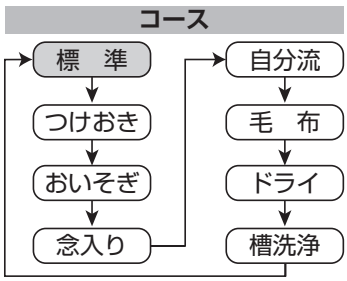
※ 5 秒間押すことで、運転終了音を鳴らさない設定ができます。
（☞ 23 ページ）

チャイルドロックランプ（☞ 8 ページ）

コースボタン

電源投入時には、標準のランプが点灯します。

ボタンを押すと、コースの横のランプが点灯し選択ができます。
（☞ 16, 17 ページ）



チャイルドロック

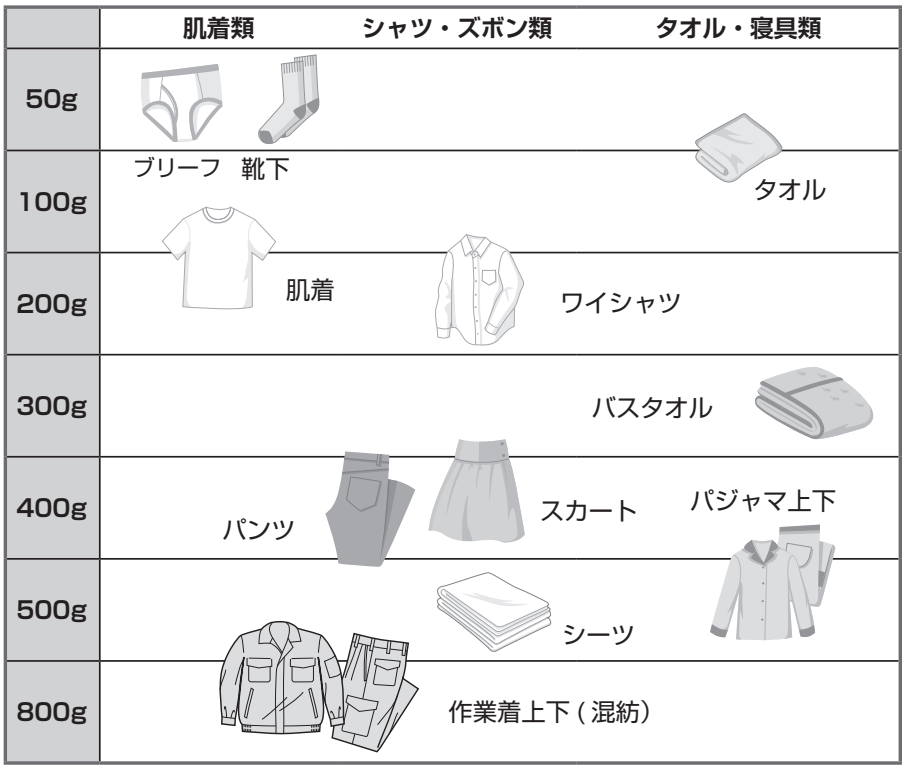
コース

ボタンを 5 秒間押して設定 (チャイルドロックランプが点灯します。（☞ 8 ページ）

コースを選ぶ

洗い方	洗濯物の種類	コース	運転の内容 最大容量	
			洗濯 (kg)	風乾燥 (kg)
ふだんの洗濯	パジャマ・肌着など	標準	○ 7.5	○ 2.0
頑固な汚れの衣類を洗うとき	汚れの多い	つけおき	○ 7.5	○ 2.0
汚れの少ない衣類を急いで洗うとき	汚れ少ない	おいそぎ	○ 2.5	○ 2.0
ジーンズなどの厚手の衣類を洗うとき	厚手・汚れもの	念入り	○ 7.5	○ 2.0
お好みの記憶させた洗濯方法で洗うとき	お好み	自分流	○ 7.5	○ 2.0
大物を洗うとき	毛布	毛布	☞ 18 ページ	
ドライマーク衣類などを洗うとき	スカート・セーター	ドライ	○ 1.5	
部屋干し時間の短縮に		風乾燥		○ 2.0
洗濯槽のお掃除		槽洗浄		

洗濯物の重さの目安



すすぎの種類

■ シャワーすすぎ
槽を回転しながら、シャワーのように水をかけ、すすぎます。

■ ためすすぎ
水をためてすすぎます。

■ 注水すすぎ
給水と排水を同時におこない、常に水を入れ替えながら、すすぎます。

- 運転コースにより、洗濯物の最大の許容量は異なるので、注意が必要です。
- 風乾燥は 2 kgまでです。

洗濯物の重さは、素材や大きさにより異なります。

お好みの設定			個別設定			初期設定				
予約	水量	槽洗浄	洗い	すすぎ	脱水	水量設定	洗い時間	すすぎ方式回数	脱水時間	所要時間
○	○		○	○	○	27～57L	11～13分	シャワー・ため1回	8分	36～42分
○	○			○	○	27～57L	60分	ため2回	8分	94～100分
○	○		○	○	○	27～57L	3～9分	ため1回	5分	14～21分
○	○		○	○	○	27～57L	15分	ため2回	8分	49～55分
○	○		○	○	○	27～57L	9～15分	ため2回	6分	41～53分
○						57L	15分	ため2回	6分	57分
						50L	6分	ため2回	1分	35分
									30～150分	30～150分
		○				57L	11時間	ため2回	30分	11時間19分

お好みの設定　上の表で○印があると、設定が可能です。

予約　1～24時間後まで。(☞21ページ)

水量

水量は初期設定では27L～57Lですが、お好みの設定では、20L～57Lまで6段階に設定できます。「洗い」の終了まで変更ができます。

槽洗浄

槽の汚れを洗浄します。2か月に1回くらいで、自動槽洗浄との併用がおすすめです。
(☞24ページ)

- 初期設定の所要時間は目安です。水道圧の違いによる給水時間や排水時間など、実際の時間は変化します。
- 残時間の表示も実際の運転により、変化します。たとえば、脱水時に洗濯物が片寄ると、運転で大きな振動が発生したり、洗濯物を痛めたりする可能性があるため、片寄を補正する動作をおこないます。その結果、運転時間が長くなることがあり、残時間表示は追加され多くなります。

洗剤・柔軟剤（漂白剤・粉石けん）の投入について

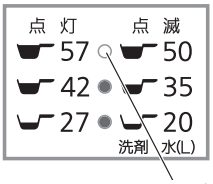
洗剤などを入れるタイミング

1 水栓を開ける
洗濯物を入れる

2 電源を入れ、コースを選び、スタート 一時停止 押す

- パルセータが回転し、洗濯物の量が自動的に計測されます。
  あらかじめ水が入っている場合や、「毛布」、「ドライ」コースを設定した場合は、洗濯物の量は自動計測されず、水量が表示されます。

点灯しているときは左側、点滅しているときは右側の数字が水量です。



ランプが点灯もしくは点滅します。

3 表示水量と下の表を参考に洗剤・漂白剤・柔軟剤を入れる

4 ふたを閉めると洗濯が始まります

使用量の目安

設定水量に対する使用量		洗剤						柔軟剤				漂白剤
		粉末			液体		ドライ専用					
		アタック	トップ	ボールド アリエール	アタックゼロ ナノックス すすぎ一回	ニュービーズ トップ アタック アリエール ボールド	エマール アクロン	ふんわりソフラン	ハミング涼感 ソフラン	レノア	ハミング	ブライトストロング ワイドハイター EX
洗濯量（目安）	水量	18 g	25 g	35 g	10 mℓ	24～25 mℓ	40 mℓ	7 mℓ	10 mℓ	16 mℓ	20 mℓ	20 mℓ
4.5～7.5 kg	57L	34 g	48 g	67 g	19 mℓ	46 mℓ	76 mℓ	13 mℓ	19 mℓ	30 mℓ	38 mℓ	38 mℓ
	50L	30 g	42 g	58 g	17 mℓ	40 mℓ	67 mℓ	12 mℓ	17 mℓ	27 mℓ	33 mℓ	33 mℓ
1.5～4.5 kg	42L	25 g	35 g	49 g	14 mℓ	34 mℓ	56 mℓ	10 mℓ	14 mℓ	22 mℓ	28 mℓ	28 mℓ
	35L	21 g	29 g	41 g	12 mℓ	28 mℓ	47 mℓ	8 mℓ	12 mℓ	19 mℓ	23 mℓ	23 mℓ
～1.5 kg	27L	16 g	23 g	32 g	9 mℓ	22 mℓ	36 mℓ	6 mℓ	9 mℓ	14 mℓ	18 mℓ	18 mℓ
	20L	12 g	17 g	23 g	7 mℓ	16 mℓ	27 mℓ	5 mℓ	7 mℓ	11 mℓ	13 mℓ	13 mℓ

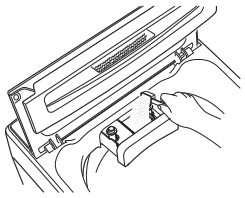
洗濯量 30L に対する使用量

- 計量スプーンの大きさは、洗剤メーカー・銘柄で異なります。洗剤容器に表示されている「使用量の目安」を、水量表示に合わせて計算してご使用ください。
- 洗剤は入れすぎないようにしてください。すすぎが不十分になり、衣類に残る場合があります。

洗剤の入れかた

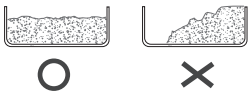
■ 粉末合成洗剤

洗剤投入ケースの中央に入れる



- 洗剤を入れたあとは、必ず洗剤ケースを閉めてください。
- 洗剤投入口がぬれている場合は、よく拭いてから洗剤を入れてください。
- 粉石けんは洗剤ケースに入れないでください。

● 洗剤は均一に入れてください。

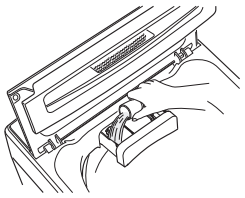


○　×

● 予約洗濯では、使用する洗剤や予約設定時間によっては洗剤が固まることがあります。予約洗濯では液体洗剤をおすすめします。

■ 液体洗剤

洗剤投入ケースの左側に流し込む

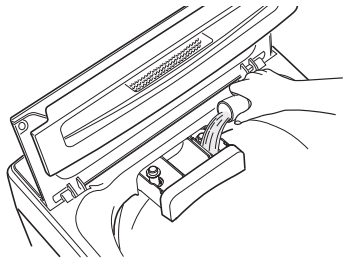


● 洗剤投入ケース左側のキャップは確実に押し込んでください。キャップのつばより上まで液体洗剤を入れないでください。入れすぎると洗剤投入の途中で洗濯槽へ流れ出ます。

● 液体洗剤投入部はサイフォン構造のため、少量の水が残ります。洗剤投入前に、この水を取り除いてください。

柔軟剤の入れかた

洗剤投入ケースの右側に少しずつ流し込む

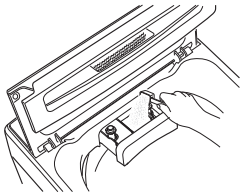


- 柔軟剤は最後のすすぎのときに、自動的に投入されます。
- 柔軟剤を約 12 時間以上入れたままにしないでください。固まってしまうことがあります。
- 柔軟剤使用による予約洗濯は、12 時間以上の設定をしないでください。
- 凝縮タイプの柔軟剤は固まるおそれがあるため、2 倍の量に薄めてからご使用ください。

漂白剤の入れかた

■ 粉末漂白剤

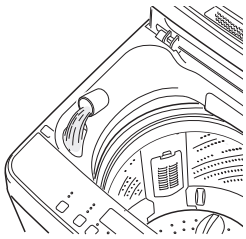
洗剤投入ケースの中央に入れる



- 漂白剤を入れたあとは、必ず洗剤ケースを閉めてください。
- 洗剤投入口がぬれている場合は、よく拭いてから漂白剤を入れてください。

■ 液体漂白剤

液体漂白剤投入口に入れる



- 漂白剤は、洗濯物にかけないでください。
- 予約洗濯に、塩素系の漂白剤は使用しないでください。

粉石けんの入れかた

ぬるま湯（約 5L・約 30℃）に、粉石けんをかき回しながら、少しづつ入れる（溶け残り、固まりを防ぐ）



- 粉石けんを使用した場合・十分にすすぎをおこなってください。
  粉石けんは、洗濯物に残りやすく、黄ばみやニオイが発生しやすくなります。
- 粉石けんを入れすぎないように注意してください。使用量が多すぎたり、水温が低いと、完全に溶けずに衣類に残ったり、ホースや洗濯・脱水槽に付着して、後ではがれ、洗濯物を汚すことがあります。

その他のご注意

■ 重曹

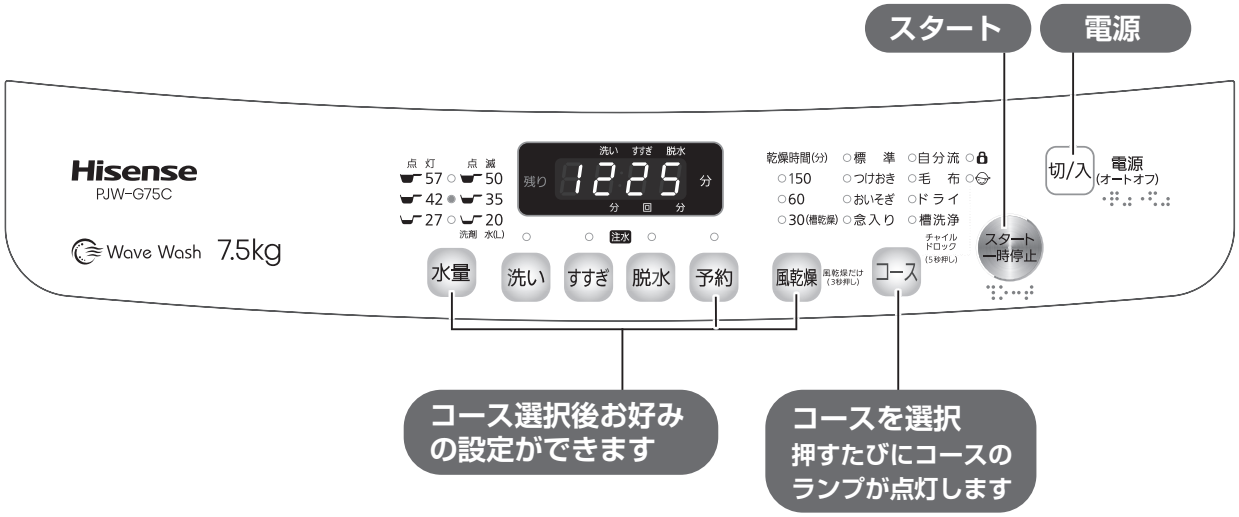
- 使用しないでください。（故障の原因になります）

■ ジェルボール型洗剤、タブレット・キューブ型洗剤

- 使用方法の記載に従ってご使用ください。

洗濯のしかた

標準・つけおき・おいそぎ・念入りコース



準備する **1**

衣類の仕分け・前処理
水栓を開ける
洗濯物を入れる

電源を入れる **2**

電源を入れる 切/入 を押す

コースを選ぶ コース を押し目的のコースを選ぶ

最初の設定は標準コースになっています。

選択したコースですすぎ回数を変更したい場合はすすぎボタンを押し変更する
☞ 11 ページ
脱水時間変更したい場合も同様

お好みの設定をしたい場合は 水量 ボタンを押し、変更する

※自動設定は解除され、お好み設定になります。

お好みの設定(☞ 17 ページ)

スタートする **3**

スタートする スタート 一時停止 を押す

洗剤を入れる 表示目安に合わせて→ 14 ページ
必要なら柔軟剤も入れてください。

ふたを閉める 水が注水され洗濯が始まる

洗濯終了 **4**

洗濯物を取り出す ブザーがなると終了

お手入れする → **お手入れ**(☞ 24 ページ)

自分流コース（設定したコースを記憶し・次回も使える）

準備する 1
- 衣類の仕分け・前処理
- 水栓を開ける
- 洗濯物を入れる

電源を入れる 2
- **電源を入れる** 切/入 を押す
- **コースを選ぶ** コース を押し「自分流」を選ぶ
  最初の設定は標準コースになっています。
- 自分流コースを作る →

スタートする 3
- **スタートする** スタート 一時停止 を押す
- **洗剤を入れる** 表示目安に合わせて→ 14 ページ 必要なら柔軟剤も入れてください。
- **ふたを閉める** 水が注水され洗濯が始まる

洗濯終了 4
- 洗濯物を取り出す　ブザーがなると終了
- お手入れする →

水量 洗い すすぎ 脱水 予約 風乾燥

【水量】ボタンを押し、設定を変更するモードにする。
その後、上の変更したいボタンを押して、時間など運転内容を設定する

スタートを押した時点で設定が記憶され、次回から同じ内容で使えます。

※予約時は運転開始後に記憶されます。

お手入れ（☞ 24 ページ）

洗い・すすぎ・脱水の個別設定　お好みの設定

準備する 1
- 衣類の仕分け・前処理
- 水栓を開ける
- 洗濯物を入れる

電源を入れる 2
- **電源を入れる** 切/入
- **コースを選ぶ** コース
- 水量ボタンを押しお好み設定をする 水量 →
- **スタートする** スタート 一時停止

スタートする 3
- **洗剤を入れる**
- **ふたを閉める**

洗濯終了 4
- 洗濯物を取り出す
- お手入れする

水量 洗い すすぎ 脱水 予約 風乾燥

上のボタンを押して、運転内容時間を設定する
コースにより設定できる内容が異なりますので、下表を参照してください。

■ **各コースで設定・選択できる機能**
（○＝可、×＝不可）

コース・運転	操作ボタン					
	水量	洗い	すすぎ	脱水	予約	風乾燥
標　準	○	○	○	○	○	○
つけおき	○	○	○	○	○	○
おいそぎ	○	○	○	○	○	○
念入り	○	○	○	○	○	○
自分流	○	○	○	○	○	○
毛　布	×	×	×	×	○	×
ドライ	×	×	×	×	×	×
槽洗浄	×	×	×	×	×	×

洗濯のしかた（つづき）

毛布コース・ドライコース

準備する

1

衣類の仕分け・前処理
水栓を開ける
洗濯物を入れる

電源を入れる

2

電源を入れる　切/入 を押す

コースを選ぶ　コース を押し、毛布またはドライコースを選ぶ
（ドライコースの洗剤は手動での投入となります）

スタートする

3

スタートする　スタート 一時停止 を押す

洗剤を入れる　表示目安に合わせて→ 14 ページ
必要なら柔軟剤も入れてください。

ふたを閉める　水が注水され洗濯が始まる

洗濯終了

4

洗濯物を取り出す　ブザーがなると終了

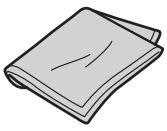
お手入れする

毛布コース
下の表をよく見て洗えるものを確認してください。必ず市販の洗濯ネットに入れご使用ください。ネットに入らないサイズは洗濯できません。

ドライコース
洗濯容量は 1.5kgまでです。多めの水量でデリケートな衣類や、ドライマーク衣類を優しく洗うコースです。
洗えるのは以下の表示
Ⓟ かつ 30
詳細は 20 ページ

毛布コースで洗えるもの

毛布



シングルサイズ（化繊）
（総重量 2.4 kg以下）2 枚まで
大きさ 140 × 200㎝



シングルサイズ（綿 100%）
（総重量 3.5 kg以下）3 枚まで
大きさ 140 × 200㎝

- 手洗いでき、洗濯機で洗えるとの表示があるもの
- 電気毛布（洗濯できる電気毛布）は、製品の取扱説明書にしたがってください。

洗濯できないもの

- ウールやカシミヤ素材のもの

毛布の洗いかた

● 化繊毛布を 1 枚（1.5kgまで）・綿毛布 2 枚（2.4kgまで）を洗う場合

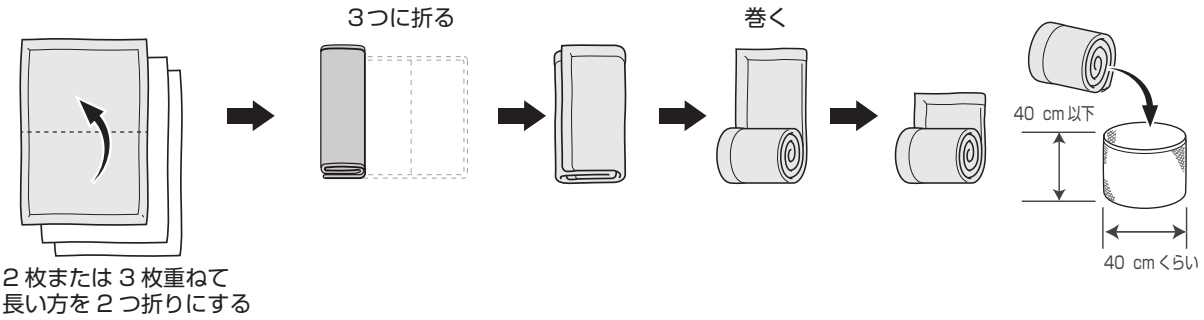
化繊毛布 1 枚や綿毛布 2 枚を選択する場合は、そのまま洗濯槽に入れてください。洗濯ネットに入れると、片寄って洗えない場合があります。毛布はできるだけ洗濯槽の下の方に平らになるように入れてください。

● 化繊毛布を 2 枚（2.4 kg まで）・綿毛布 3 枚（3.5 kg まで）を洗う場合

化繊毛布２枚、綿毛布３枚をまとめて洗う場合は、洗濯ネットに入れると、出し入れがしやすくなります。入れ方は下の図のようにしてください。

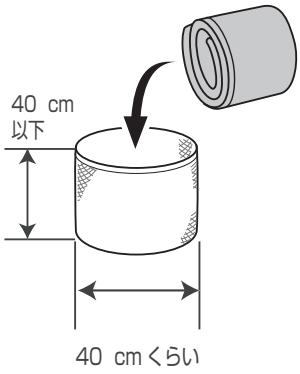
● 洗剤は液体洗剤を使ってください。粉末洗剤は洗剤が残る場合があります。

（ネットを使用する場合の毛布の入れかた）
※重ねて洗濯する場合は同じ材質に限ります。



洗濯ネットに入れるとき、余裕があれば
できるだけ中心を開けてください。







洗い方のコツ・干し方

● 汚れがひどい部分はあらかじめ手でもみ洗いをします。
● ぬるま湯（約 30℃）で洗うと汚れ落ちがよくなります。
● 干すときは、風通しのよい所で、自然乾燥させます。
● 干すときは、形を整えたり、時々裏返すと、きれいに仕上がります。

洗濯のしかた（つづき）

ドライコースの準備と使用する洗剤

ドライコース洗濯の準備

- シミがあるときは、裏側にタオルをあて、洗剤をつけてタオルなどで軽く押さえます。
- 汚れやすいえり、袖口などは洗剤をつけてブラシなどで軽くたたいて汚れを落としておきます。
- ボタンやししゅうの付いている衣類は裏返しにします。
- ボタンやファスナーは閉めてください。
- 色落ちしそうな衣類は、白いタオルなどに洗剤を含ませ、目立たない所に押し当てて、色落ちを確認してください。色落ちするものは洗わないでください。

使用する洗剤

■おしゃれ着用液体中性洗剤（毛・絹用）

液体洗剤以外は使用しないでください。

粉末洗剤は溶け残るおそれがあります。

- **漂白剤は使用しないでください。**
  強アルカリ性のため、衣類を傷めるおそれがあります。

ドライコースで洗えないもの

ドライコースで洗える表示があっても以下のものは洗濯できません。

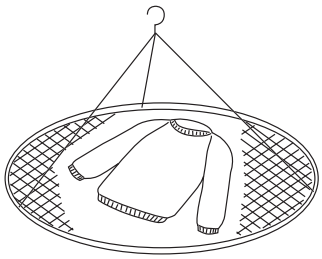
- 皮革製品、皮革装飾のあるもの
- 羽、毛皮などの装飾のあるもの
- 絹、レーヨン、キュプラおよびその混紡品 (裏地として使用しているものも不可)
- スーツ、コート、ネクタイなどの型崩れしやすいもの
- コーティング加工、樹脂加工 (接着剤を使用したもの)、エンボス加工を施したもの
- ちりめんなどの強くよじった糸（強撚糸）を使用したもの
- ベルベットなどのパイル地など
- 防水加工品 (スキーウェアなど)
- 色落ちしやすいもの
- 取扱い絵表示および素材表示のないもの

衣類の干しかた

風通しのよい日陰に干してください。

■ ウール、アンゴラ、カシミヤのセーター

形を整えて裏返しして、平干しをしてください。



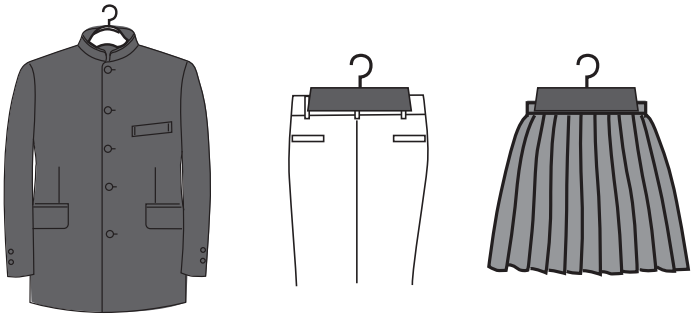
■ 学生服、ブラウスなど

・形を整えてハンガー干しをしてください。

・ハンガーにタオルを巻いて、肩幅に合わせてお使いいただくと、型崩れしにくくなります。

■ スラックス、スカート

形を整えてハンガー干しをしてください。伸びやすいものは、平干ししてください。



予約して洗濯する

■洗濯終了までの時間を、1 ～ 24 時間後までの範囲で設定できます。
ただし、洗濯時間より短い時間は設定できません。たとえば出かける前に洗濯終了時間を設定しておけば、帰宅したときまでに洗濯を終了させることができます。

準備する **1**
- 衣類の仕分け・前処理
- 水栓を開ける
- 洗濯物を入れる

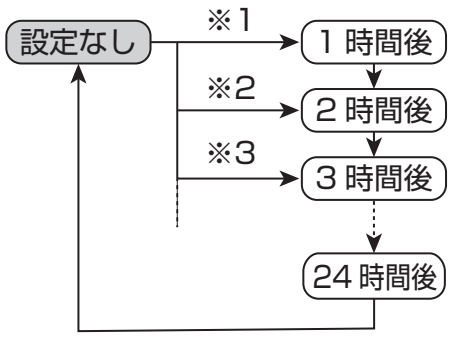
電源を入れる **2**
- **電源を入れる** 切/入
- **コースを選ぶ** コース
- **予約をする** →

スタートする **3**
- **スタートする** スタート 一時停止
- **洗剤を入れる**
- **ふたを閉める**

洗濯終了 **4**
- 洗濯物を取り出す
- お手入れする

予約 を押すごとに 1 時間単位で設定できますが、洗濯時間により最初の表示が変わります。

	洗濯時間	最初の表示
※ 1	45 分以内	1(時間後)
※ 2	46 分～ 1 時間 45 分	2(時間後)
※ 3	1 時間 46 分～ 2 時間 45 分	3(時間後)
⋮	⋮	⋮



スタートボタンを押すと（予約完了）

● 予約時間が点灯します。予約ランプと時間表示のドットが点滅し、その他の設定したコースなどは消灯します。

例）13 時間後に設定した場合



● **設定した内容の確認**

予約中に 予約 を押します。約 5 秒間、水量、洗い、すすぎ、脱水、風乾燥、コース (洗濯時間）の設定が表示されます。

● **設定した内容の取り消し**

切/入 を押して、電源を切ります。

● **設定した内容の変更**

切/入 を押して、一度電源を切ります。もう一度電源を入れ、再設定してください。

洗濯のしかた（つづき）

洗濯～風乾燥までを自動でする・・・洗濯物は 2kgまで

■「風乾燥」はヒーターを使わず、脱水槽の遠心力と通風口から取り込んだ空気で衣類の水分を飛ばします。これにより部屋干しの乾燥時間を短縮できます。

準備する　1
衣類の仕分け・前処理
水栓を開ける
洗濯物を入れる

電源を入れる　2
電源を入れる　切/入 を押す
コースを選ぶ　コース 押し選択
風乾燥をする　風乾燥 を押し時間を選ぶ

スタートする　3
スタートする　スタート 一時停止 を押す
洗剤を入れる
ふたを閉める

洗濯終了　4
洗濯物を取り出す　ブザーがなると終了
お手入れする

・部屋干し特有のニオイが抑えられます。

風乾燥してはいけないもの

●型崩れ・しわが気になるもの
- 絹や・革製品・ウールなど
- ブラウスや綿 100%シャツなど
- 掛け布団・毛布など
- 防水性のもの

●吊り干し・平干し、ドライなどの表示があるもの



風乾燥だけをする・・・洗濯物は 2kgまで

準備する　1
脱水した洗濯物を入れる

電源を入れる　2
電源を入れる　切/入 を押す
風乾燥時間を選ぶ
風乾燥 を 3 秒以上押す

● 30 分、60 分、150 分の設定ができます。

操作パネル表示	風乾燥設定
30	30 分
60	60 分
150	150 分

スタートする　3
ふたを閉める
風乾燥はふたを閉めてからスタートします。
スタートする　スタート 一時停止 を押す

洗濯終了　4
洗濯物を取り出す　ブザーがなると終了
お手入れする

操作パネル表示　風乾燥設定



便利な使いかた

のり付け・・・のり付けできる衣類の量：500 g以下

準備する **1**
のり付けしたい衣類を入れる
水栓を開ける

電源を入れる **2**
電源を入れる 切/入 を押す
標準コースで 洗い 3分 脱水 1分
水量 20L に設定

スタートする **3**
スタートする スタート 一時停止 を押す
ふたを閉める

のりを入れる **4**
給水が終了し洗濯が始まったら一時停止し、洗濯のりを入れる。ふたを閉め、再スタートする

洗濯終了 **5**
洗濯物を取り出す

お手入れ **6**
のり付け後は【水量 50L】で【洗い 5 分】【脱水 1 分】の運転をしてください。のりが残ると故障の原因になります。

終了時の電子音の設定

■初期設定「電子音あり」ですが、終了音を消すことができます。

1
電源を入れる 切/入 を押す

2
スタート / 一時停止ボタンをピーとなるまで約 5 秒間押す
スタート 一時停止 を押す

●運転終了後に、自動的に「電子音あり」に戻ります。
運転終了の電子音を消すには、都度設定が必要です。

終了音ありにするときは、
同じ手順で設定できます。

お手入れ

槽洗浄（洗濯・脱水槽を洗う）

■洗濯機は使用期間が長くなると、洗濯・脱水槽に汚れや黒カビが発生することがあります。
通常は 2 か月に 1 度（粉末合成洗剤使用時は 1 か月に 1 度）を目安に槽洗浄をおこなってください。

準備する **1**

市販の塩素系漂白剤を準備する
水栓を開ける

電源を入れる **2**

電源を入れる 切/入 を押す

コースを選ぶ コース を押し、槽洗浄を選ぶ

●残り時間「11：19」が表示される。

スタートする **3**

スタートする スタート 一時停止 を押す

ふたを閉める

●給水が終了し洗濯が始まったら一時停止し、塩素系漂白剤 300mℓ を入れる。ふたを閉め、再スタートする。

洗浄終了 **4**

ブザーがなると終了し、電源が切れます。

- 市販の漂白剤の説明書をよくお読みいただきご使用ください。
- 衣類は入れないでください。
- 連続して、槽洗浄運転をおこなわないでください。故障のおそれがあります。
- 汚れがひどい場合や黒カビが発生してしまった場合は、市販の洗濯槽クリーナーをご使用ください。

本体・槽の清掃

本体の清掃

- **よく絞ったやわらかい布で拭く**
  汚れが落ちにくい場合は薄めた中性洗剤で拭き取ってください。さらによく水拭きし、最後に乾いた布で拭いてください。
- **化学ぞうきんを使うときは、注意書きに従ってください。**

ステンレス槽のサビの対応

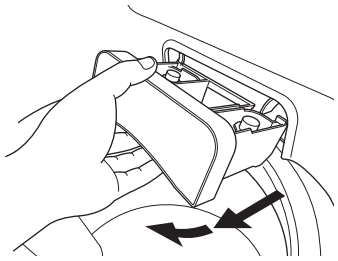
- **市販のクリームクレンザーをスポンジにつけてサビを取り除く**
  金属たわしなどは使わないでください。表面を傷つけさびやすくなります。
- **イオウ成分の入った入浴剤入り風呂の残り湯は使わないでください。**
- **ヘアピンなどのさびやすい鉄製品を洗濯槽に入れたままにしないでください。**

⚠ 警告	● お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。またぬれた手で抜き差ししない ● シンナー、ベンジン、ガソリンなどは使用しない

洗剤投入ケース

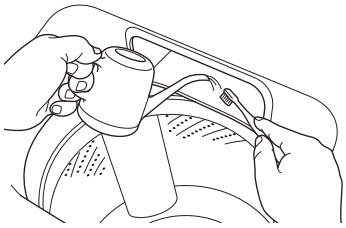
① 洗剤投入ケースを外す

手前に引き出してから、斜め上に引き抜きます。

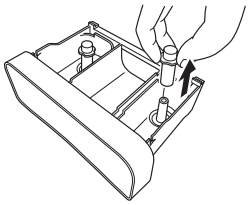


② 洗剤投入ケース挿入口内部の掃除

まわりに水がかからないよう注意して掃除してください。

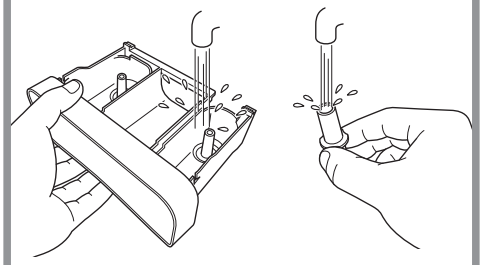


③ 洗剤投入ケースのキャップを外す

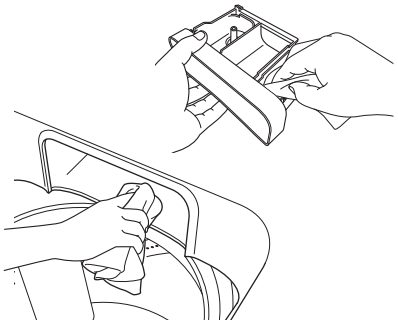


④ キャップの裏側・本体をよく洗う

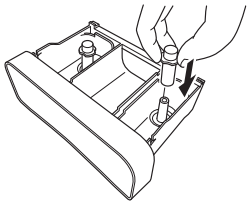
柔軟剤や洗剤がこびりついたときは、約 40℃のお湯で洗うと落ちやすくなります。



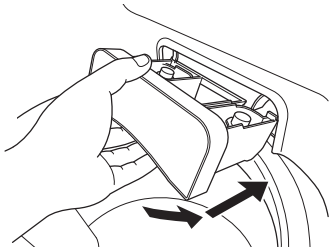
⑤ 洗剤投入ケース本体内側の水をよく拭き取る



⑥ 2 本のキャップをしっかり押して取り付ける



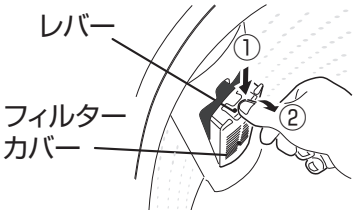
⑦洗剤投入ケースを少し斜め上から差し込み収納する



糸くずフィルターの清掃

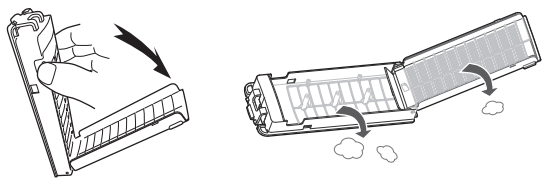
1 フィルターカバーを外す

①レバーを押しながら②手前に引きます。



2 フィルターを開ける

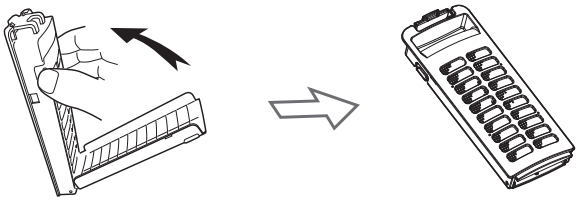
フィルターカバー両端のストッパーからフィルターを開けます。



3 フィルターの掃除

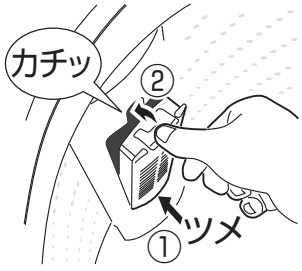
たまった糸くずを取り出して、水できれいに洗います。

4 フィルターを取り付ける



5 フィルターを取り付ける

カバー下の①ツメを挿入し②レバーがカチッと音がするまで押し込む。



お手入れ（つづき）

給水口の清掃

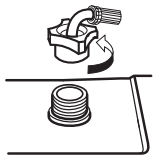
給水口にゴミがたまると、水の出が悪くなります。水の出が悪くなったら清掃してください。

1 **水栓を閉める**

2 洗い **運転をおこない、給水ホースの水を抜く**

10 秒程度運転してください。給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぎます。

3 **給水ホースを外し、給水口内の青いフィルターキャップの水あか、さびなどの汚れを歯ブラシなどで取り除く**





もしもの場合

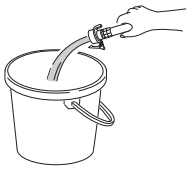
水抜き（引越し・凍結の防止）

1 **水栓を閉める**

2 洗い **運転をおこない、給水ホースの水を抜く**

10 秒程度運転してください。給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぎます。

3 脱水 **運転をおこない、洗濯・脱水槽の残水を排水する**



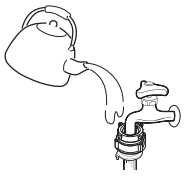
4 **給水ホースの水栓蛇口側を外して、ホース内の残水をバケツなどに排水する**

つぎの洗濯まで外したままにする。

凍結してしまったら

1 **給水ホースの接続部（水栓側と本体側）に50℃以下の温水をかける**

水が飛び散る場合がありますので、タオルなどをあててください。床がぬれて困る場合は、蒸しタオルで包んでください。



2 **給水ホースを外し、50℃以下の温水につける**

3 **50℃以下の温水を約 1 リットル洗濯・脱水槽に入れ、10 分間そのままにする**

4 **給水ホースを接続し、水栓を開けて運転し、給水と排水ができるか確認する**

据え付け （施工は必ず、お買い上げの販売店か施工業者にご依頼ください）

①設置場所

■丈夫な床に据え付けてください。

次の場所には設置しないでください

- 直射日光の当たる場所
- 屋外など冬期に凍結のおそれのある場所
- 給水・排水のできない所
- 湿気の多い所

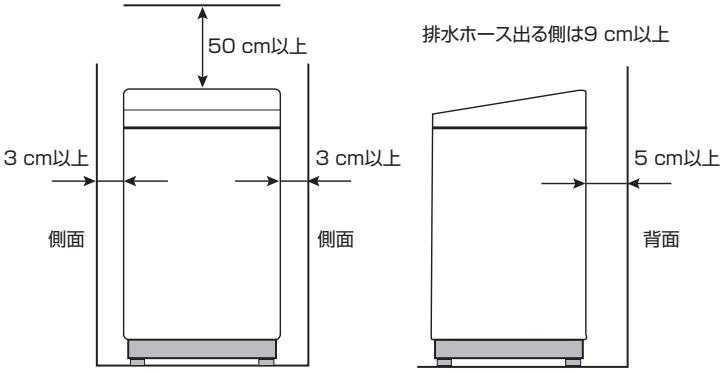
（浴室には絶対に据え付けない）

- じゅうたんの上など（故障の原因）
- タイルなどすべりやすい場所

据え付け（つづき）

設置するときの寸法関係

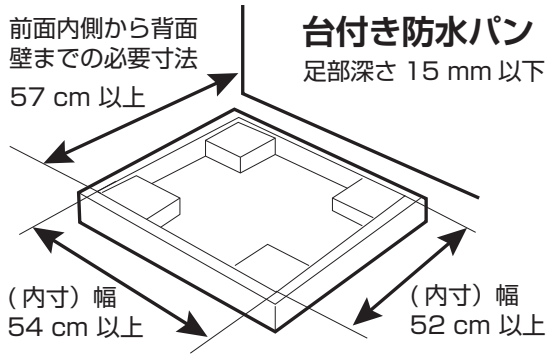
- 本体は前面を 放して、側面や 面は右図の寸法以上離してください。
- 排水パイプが出る側は壁まで 9 cm 以上離してください。
  振動や を防ぐためです。

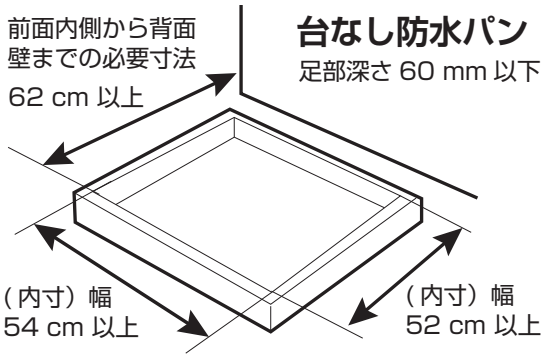


防水パンについて

- 万が一の水漏れにそなえ、防水パンの使用をおすすめします。
- 防水パン周囲の壁部分に脚が乗り上げないようにしてください。（振動、異音のおそれがあります。）
- 防水パンが設置されておらず、床が防水でない場合、洗濯機用トレイをご使用ください。

■ 防水パンサイズについて（参考）
防水パンサイズ、壁までの設置寸法を確認してください。脚を載せる台がある台付き防水パンと台のない防水パンで、設置寸法が異なります。



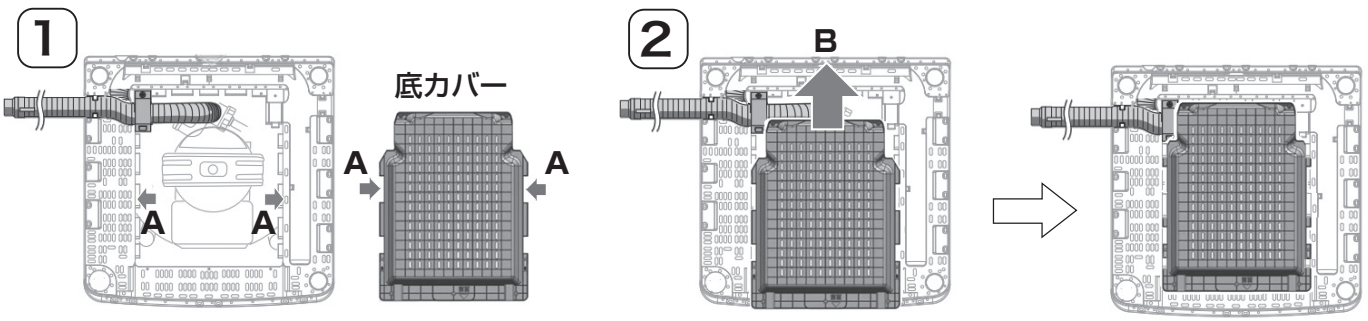


排水ホースが横から出るときは、+9 ㎝で幅が 63 cm 必要です。

底カバーの取付

■ 下図 (1) のように製品下面の凸部（矢印 A 部）を合わせるようにはめ込みます。

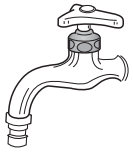
■ 下図 (2) のように、はめ込みができたら、矢印 B の方向に『カチッ』と音がするまで引き上げてください。



据え付け（つづき）

水栓の確認

洗濯機用の専用水栓



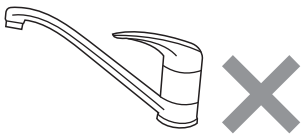
○（日本電機工業会規格 JEM1206 に準拠した水栓を使用してください。）

横水栓



○

取付不可能な水栓



×（自在水栓、万能ホーム水栓、ワンタッチ水栓など）

- 水栓出口先端は平面で長さは 10mm 以上必要です。
- 出口の先端が平面でないときや問題があるときは、止水水栓などに交換してください。
- 給水ホースを取り付ける前に、必ず水栓ジョイント部分を確認してください。（汚れ、サビ、傷は水漏れの原因になります。取り除けない場合は、新しい水栓に交換してください。）

②排水ホースの設置

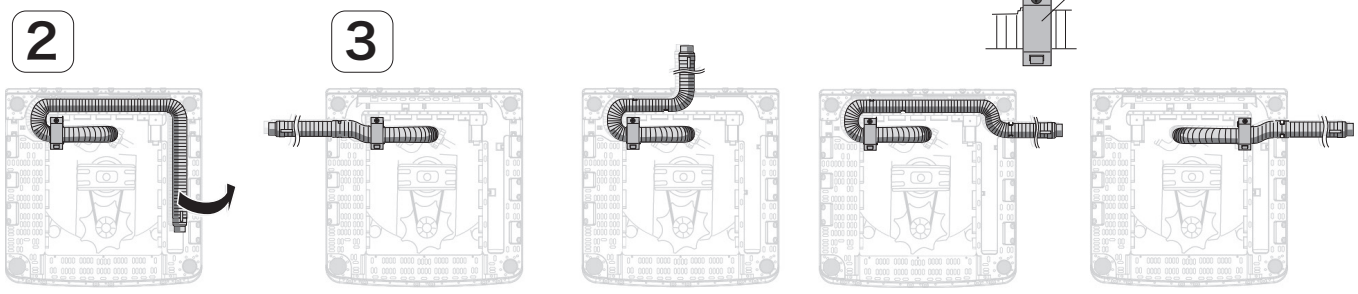
付け替え

■工場出荷時に、本体右側に排水ホースはセットされています。

1 手前が下になるように、段ボールなどの上に寝かせる

2 排水ホースを取り外す

3 ホースをお好みの場所にセットし、ホースバンドをねじ固定する



工場出荷時、排水ホースは洗濯機の内側に固定されています。ご使用前に排水管を洗濯機の内側から取り出します。

配水ホースは洗濯機の後ろ側から出すこともできます。

配水ホースは洗濯機の内側で方向を変えることができ、置き場所にあった取り回しが可能です。

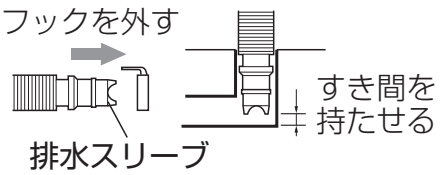
配水ホースの長さが足りない場合など、ホースバンドの取付位置を変えることで、より長い取り回しが可能です。

- 排水口が洗濯機の真下にある場合は次ページ（洗濯機の真下に排水口がある場合）を参照ください。

排水口に差し込む

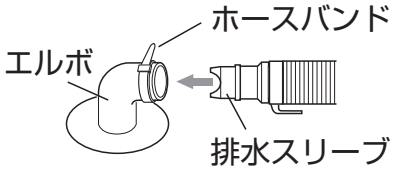
■ 排水ホース先端のフックを外し、付属品の排水スリーブを取り付けて、排水口に差し込む

排水スリーブは排水ホースの先端がふさがれて排水が悪くならないように、すき間を持たせるためのものです。必ず取り付けて使用してください。



■ 排水口がエルボの場合

排水ホースの先端部をエルボにしっかりと差し込み、ホースバンドで確実に固定してください。差し込みができないときは、排水スリーブを外してください。



必要なときに

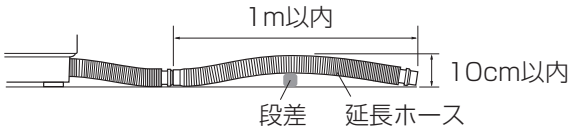
排水ホースの長さを調節する

■ ホースを延長する場合

延長ホースの先端部をしっかりと差し込み、確実に固定してください。

- 市販の「洗濯機用排水延長ホース」をご使用ください。
- 延長ホースの長さ、段差を越える場合の高さは右側の表に従ってください。

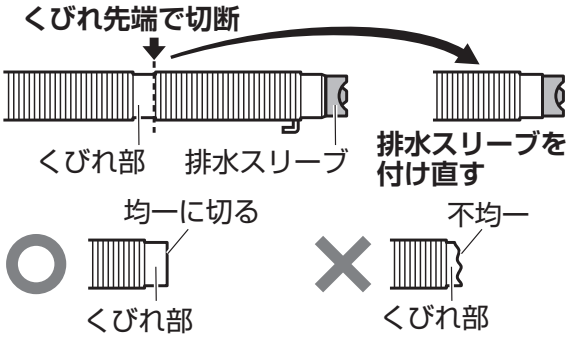
ホースの状態	ホースの高さ	延長ホースの長さ
途中で高くなる場合	10 cm 以内	1 m 以内
途中で高くならない場合	−	3 m 以内



■ 排水ホースを短くする場合

均一に切断し、排水スリーブをしっかりと付け直してください。(安全のため手袋着用をお薦めします)

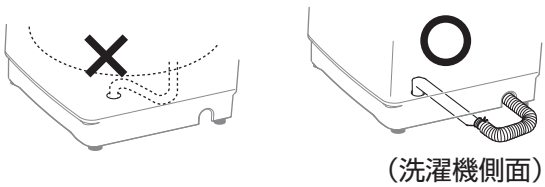
- 排水ホースのくびれ部をはさみやカッターで切断してください。
- 排水ホースの先端に付いている排水スリーブを付け直してください。



洗濯機の真下に排水口がある場合 (別売の真下排水パイプをお買い求めください。 ☞ 9 ページ)

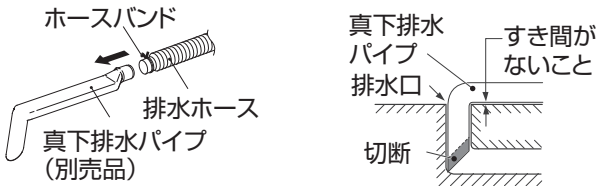
■ 排水ホースに真下排水パイプを取り付ける

排水ホースを直接排水口に差し込まないでください。



■ 真下排水パイプを排水口に差し込む

排水口のフチが平らであることを確認してください。真下排水パイプが長くて排水口に垂直に入らない場合は，先端部を切断してください。

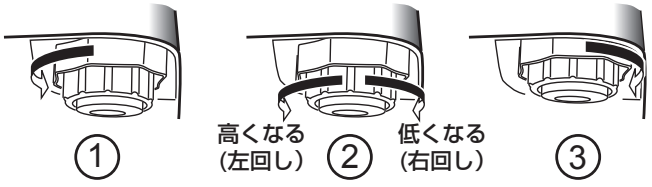


③水平を確認する　がたつきのない設置

がたつきがあるときは、右手前 1 カ所の高さ調整脚を回して調整する

① 固定ねじをゆるめる (左回し)
② 調整脚を回して、脚の高さを調節する
③ 固定ねじで確実に固定する (右回し)

確実に締め付けないと振動の原因になります。



洗濯機の対角を押して、がたつきがないか確認する

- 水平が出ないときは板材などのスペーサーで調整してください。

据え付け（つづき）

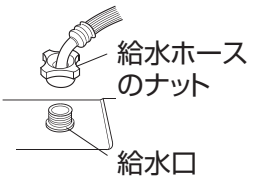
④給水ホースの接続

給水ホースと洗濯機の接続

給水ホースは付属品の新品を取り付けてください。古いものを使うと水漏れの原因になります。

1．給水ホースのナットを水平に右に回して給水口にしっかり締め付ける
2．ゆっくりホースを引いてしっかり付いたか確認する
3．洗濯の開始時、終了時、給水ホースの接続部分に水漏れがないか確認する

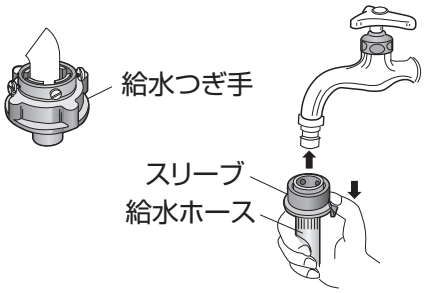
● 給水ホースのナットを水平でなく斜めに締めると、給水口のねじが壊れる場合があります。



水栓と給水ホースの接続

■ 洗濯機専用水栓の場合

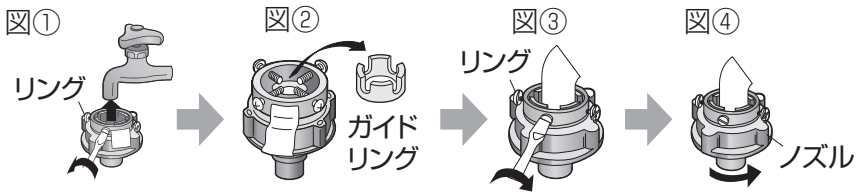
1．スリーブを引き下げ、水栓に給水ホースを挿入する (給水つぎ手は不要です。)
2．挿入したあと、給水ホースを上下に引っ張って外れないか確認する



■ 洗濯機専用水栓でない場合

①給水つぎ手を水栓に取り付ける
(リングのラベルはまだはがさないでください)

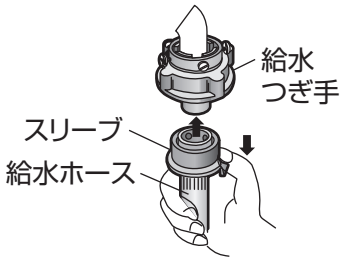
1．リングのねじ (4 本）をゆるめる。(図①)
2．水栓出口の径が大きい場合、リングのねじ (4 本）をゆるめて、中のガイドリングを取り外す（図②) 水栓出口の先端が平面でないと、水漏れの原因になります。



3．水栓出口に垂直に押しつけ、水栓出口がリングの中心となるよう、リングのねじ (4 本）を均等にしっかり締め付ける (図③)
4．リングに貼り付けているラベルをはがし、ノズルを右に回して、しっかり締める (図④)

②給水つぎ手と給水ホースの接続

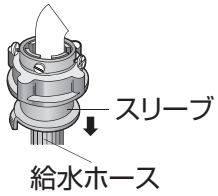
1．給水ホースのスリーブを引き下げ、給水つぎ手に差し込んでスリーブを離す
2．給水ホースを下に引いて外れないか確認する
3．給水ホースが折れていないかを確認する
（以前も給水つぎ手を使用していた場合、水漏れのおそれがあるので蛇口の同じ位置にねじを固定しないでください。）



必要なときに

給水ホースの外しかた

1. 水栓を閉める
2. 洗い 運転をおこない、給水ホースの水を抜く
   10 秒程度運転してください。給水ホースを外したときの水の飛び散りを防ぎます。
3. スリーブを下に引いて、給水ホースを外す



⑤アースについて

■ コンセントにアース端子があるとき

アースの先端を確実にアース端子に接続してください。

■ アース工事について

安全にご使用いただくため、D 種接地工事が必要です。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

（工事費は本体価格に含まれていません。）

⚠警告	● 必ずアースをする アースしないと感電のおそれがあります。 ● 水道管、ガス管には接続しない 感電・爆発の原因になります。 ● 電話線や避雷針のアースには接続しない 感電の原因になります。

⑥電源（コンセント）について

- **定格 15A 以上、交流 100V のコンセントを単独で使用。（タコ足配線をしない。延長しない）**
- **本体や、周囲のものでコードを挟まない。（コードを傷つけない）**

⑦試運転について

1. 水栓を開く
   →水栓から水漏れがないか確認してください。
2. 洗濯物は入れないで、切/入 を押し、スタート 一時停止 を押す
   →パルセーターが回転したら、ふたを閉めてください。
3. 約 5 分間運転をする
   →異常音や、水漏れがないか確認してください。
4. 1 度電源を切り、再度電源を入れる
5. ふたを閉めて 脱水 を押し、スタート 一時停止 を押す
   →排水が始まるので、排水ホースから水漏れがないか確認してください。
6. 約 3 分間運転をする
   →異常音や、異常振動がないか確認してください。
7. スタート 一時停止 を押し、一時停止する
   →ふたロックが解除されてふたが開くか確認してください。
8. 切/入 を押し電源を切る

故障かな？！と思ったら

ご使用中に異常が生じたときは、つぎの点をお調べください。それでも正常に戻らないときは、ただちに電源プラグを抜き、水道栓を閉めて、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご連絡ください。
お知らせ表示には下記以外に E5 ～ E9 がありますが、これらが表示された場合にも、お買い上げ販売店か弊社サポートセンターにご連絡ください。

こんなとき	お知らせ表示	お調べいただくこと
運転しない	E1	● ふたを確認してください。 ①開いていませんか。 ②完全に閉まっていますか。 ③異物が挟まっていませんか。
排水しない	E3	● 排水ホースを確認してください。 ①ホースを横にかけたままになっていませんか。 ②正しく取り付けられていますか。（28 ～ 29 ページ） ③つぶれたり凍結していませんか。 ④先端が水につかっていませんか。 ⑤途中が高くなっていませんか。（29 ページ） ⑥長すぎませんか。（29 ページ） ● 排水口や排水ホースに糸くずなどが詰まっていませんか。
給水しない	E4	● 水栓は全開していますか。 ● 給水口の青いフィルターキャップにゴミがたまっていませんか。（26 ページ） ● 断水していませんか。 ● 水道や給水ホースが凍結していませんか。（26 ページ）
脱水しない	Un	● 洗濯物が片寄っていませんか。 ● 本体がガタついていたり傾いた状態で設置していませんか。（29 ページ）
ふたロック異常	UL	● ふたがきっちり閉まっていますか。
ふたが開かない	—	● 運転中は、ふたロックが作動します。（8 ページ） ふたロックランプ が点灯していませんか。 ● 運転中に電源を切ると、ふたロックしたままになります。（8 ページ） ● チャイルドロックランプ が点灯していませんか。（8 ページ）
運転しない	—	● 電源プラグはきちんと差し込まれていますか。 ● ご家庭のブレーカーが切れていませんか。 ● 停電ではありませんか。 ● 電源 切/入 ボタンは押しましたか。 ● スタート スタート 一時停止 ボタンは押しましたか。 ● 予約運転中ではありませんか。（21 ページ）

必要なときに

こんなとき	お知らせ表示	お調べいただくこと
水漏れする	—	● 水栓の形状は適していますか。（28 ページ） ● 給水つぎ手リングのねじやノズルがゆるんでいませんか。（30 ページ） ● 給水口のナットがゆるんでいませんか。（30 ページ） ● 付属品と異なる給水ホース／給水つぎ手を使用していませんか。（30 ページ） ● 給水ホースが外れたり、破れたりしていませんか。 ● 排水ホースが排水口から外れていませんか。（29 ページ）
異常音が出る 振動が大きい	—	● 洗濯機が傾いたり、ガタついていませんか。（29 ページ） 据え付けが不安定な場合、脱水の振動や音が大きくなります。 ● 洗濯物が片寄っていませんか。 片寄ると脱水時の振動が大きくなります。 ● ヘアピン、金属物と一緒に洗っていませんか。 ● 給水ホースが壁などに接触していませんか。 ● 排水ホースは ①正しく接続固定されていますか。 ②先端が外れていませんか。 ③ホースのたるみが本体に当たっていませんか。 ● 電源コードやアース線が本体に接触していませんか。
洗剤・柔軟剤 投入口に 粉末洗剤が残る	—	● 粉末合成洗剤ではなく粉石けんの場合は、粉石けんの説明書をお読みいただき、正しくお使いください。（15 ページ） ● 洗剤・柔軟剤投入ケースがぬれたまま粉末洗剤を投入していませんか。 ● 予約洗濯する場合、洗剤が固まって一部残ることがあります。 ● 水栓は全開していますか。水圧が低すぎると洗剤の流れが悪くなります。
液体洗剤が洗濯 槽に流れ出る	—	● 洗剤・柔軟剤手動投入ケースのキャップのつばの高さ以上に入れ過ぎると、洗濯槽に流れ出ます。（15 ページ）

故障かな？！と思ったら（つづき）

下記のような場合は故障ではありません。

はじめて使用するときに排水ホースから水が出る	● 工場での性能テスト時の残水です。
運転の途中で止まる	● 洗い、脱水、給水、排水などの運転切り換え時、一時的に止まることがあります。
運転切換え時に音がする	● 洗濯機内部で運転切換え時に、弁などの音がします。
排水時に音がする	● 排水経路で水と空気が混じり合うために出る音です。
洗濯物の量に対し水量が合わない	● 衣類によっても自動計量水量は異なります。合っていないと感じられる場合は、洗濯スタート前に水量ボタンでお好みの水量を直接設定してください。
すすぎからスタートしても給水が始まらない	● 洗濯槽に水がない場合でも脱水から始まり、一定時間の脱水後に給水、すすぎとなります。
脱水の途中ですすぎになる	● 脱水時に洗濯物の片寄りがあると、注水してすすぎをおこない片寄りを自動修正します。片寄りが直らない場合（最大３回）は、運転を停止します。
脱水が不十分	● 衣類の量や材質によって脱水状態は変わります。脱水が不十分と感じられる場合は、再度脱水をおこなってください。
残時間表示が正確でない	● 衣類の量、水道水圧、排水状況などで運転時間は変動します。表示された残り時間は目安です。洗濯時間の変動は運転の途中で時間補正されますので、残り時間の目安としてお使いください。
ラジオに雑音が入る テレビに線が出る	● ラジオ、テレビを洗濯機から離してください。

アフターサービスについて

● **保証書 (添付)**

「お買い上げ年月日」と「販売店名」など所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。記載内容をよくお読みになり大切に保管してください。

● **保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間**

● **補修用性能部品の保有期間　6 年**

この製品の補修用性能部品は、製造元が製造打ち切り後 6 年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **修理を依頼されるとき**

「故障かな？！」の表に従ってご確認ののち、直らないときは、まず安全のため電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターへご連絡ください。

● **保証期間中は**

保証書の規定に従って､出張修理､または（場合によっては）製品の交換をさせていただきます。

● **保証期間終了後は**

保証期間終了後は診断をして、修理できる場合はご要望により有料修理させていただきます。

● **修理料金の仕組み**

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料：診断･故障箇所の修理および部品交換･調整･修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代：修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料：お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

● **その他**

・製品に異常がある場合には、お客様ご自身で修理されたり、手を加えたりすることは危険です。絶対にしないでください。

・アフターサービスについてご不明な点は、弊社サポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

＜弊社サポートセンターについて＞

● **電話によるお問い合わせ**

受付時間：**365 日　9:00 ～ 18:00**

固定電話： 0120-835-111

携帯電話： 0570-033-677(有料)

※上記電話番号がご利用いただけない場合
050 - 2018 - 6700（有料）

● **FAX によるお問い合わせ**

FAX 番号：0570-06-1117（有料）

お客様のご連絡先、品番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

● **メールによるお問い合わせ**

電子メールでのお問い合わせは http://www.hisense.co.jp のお問い合わせのページで受け付けています。お客様のご連絡先、品番、ご購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

受付時間：24 時間受付。土日・祝祭日を挟んだ場合、およびご質問の内容によっては、回答までに日数がかかる場合があります。あらかじめご了承ください。

サポート受付に関しては変更させていただく場合がございます。

弊社のホームページでサポート時間などをご確認のうえ、ご利用いただくようお願いいたします。

ハイセンスサポートセンター　**固定電話：0120-835-111**
携帯電話：0570-033-677(有料)

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年変化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けらた以下の表示を本体におこなっています。

【製造年】(本体に西暦 4 桁で表示してあります)

【設計上の標準使用期間】7 年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

● 運転時間や温湿度など、右記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

● 設計上の標準使用期間は無償保証期間と異なります。また一般的な故障を保証するものでもありません。

■標準的な使用条件　JIS C 9921-4 による

区　分	項　目	条　件
環境条件	電　圧	単相 100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温　度	20℃
	湿　度	65%
負荷条件	負　荷	標準容量
	コース	標準コース
	給水圧力	0.03 ～ 0.8MPa
	給湯・給水温度	20 ± 15℃
使用時間および回数	1 日の平均使用回数	1.5 回
	1 回の使用時間	標準コースの時間
	1 年間の使用日数	365 日
	1 年間の使用回数	1.5 回× 365 日 =547.5 回 / 年

経年劣化とは　長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

● 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外で使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

全自動電気洗濯機　保証書　出張修理

品番	PJW-G75C
お買い上げ日	年　月　日
保証期間	お買い上げ日より本体 **1 年間**
お買い上げ店 住所・店名・電話	

【お客様情報】

お名前	
ご住所	
お電話番号	

Hisense
ハイセンスジャパン株式会社
〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町 66 番地2
サポートセンター電話番号：
固定電話：0120-835-111
携帯電話：0570-033-677(有料)
受付時間：365 日　9:00 ～ 18:00

修理のお問い合わせに際して、<修理規約>
https://www.hisense.co.jp/repairpolicy/ をご確認ください。
あわせて、以下の<無償修理既定>をお読みください。
FAX によるお問い合わせは、取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書・本体表示の注意書きに従い、正常な使用状態で保証期間内に故障した場合、本書記載内容の範囲内で無料修理いたします。お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。
2. ご転居・ご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、ハイセンスサポートセンターへお問い合わせください。
3. 保証期間中でも、次の場合には有料修理になります。
   (イ) 使用上の誤りや、不当な修理・改造による故障または損傷。
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動・引っ越し・輸送・落下などによる故障または損傷。
   (ハ) 火災・水害・落雷・地震・その他の天災地変、公害・塩害・異常電圧などによる故障または損傷。
   (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用・車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障または損傷。
   (ホ) 本書のご提示がない場合。
   (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入または押印がない場合
4. この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
6. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理対応をおこなった場合は実費を申し受けます。

★保証書にご記入いただいた個人情報は、保証期間内のサービス活動、以後の安全点検活動に利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
★この保証書は、明示した期間・条件のもとで修理をお約束するものです。 したがって、この保証書により保証書発行者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店またはハイセンスサポートセンターへお問い合わせください。
★保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書のアフターサービスについて をご覧ください。

愛情点検



長年ご使用の洗濯機の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 焦げたようなニオイがする。
- 運転中に異常な音や振動がする。
- 洗濯機に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 水漏れ（ホース･水槽･ホースつぎ手）
- 洗濯・脱水槽がとまりにくい。
- 据え付けが傾いたりぐらぐらする。
- その他、異常・故障がある。

異常があればご使用中止

事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

廃棄時のご注意

2001 年４月施行の家電リサイクル法ではお客様がご使用済みの電気洗濯機を廃棄される場合は収集・運搬料金と再商品化等料金 (リサイクル料金) をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村へ適正に引き渡すことが求められています。

仕様

種類	全自動電気洗濯機	使用水道水圧	0.03 ～ 0.8 MPa（0.3 ～ 8kgf/cm^2）
電源	AC100V　50/60Hz 共用	標準水量	57L
標準洗濯容量	7.5 kg（乾布質量）	標準使用水量	110L
標準脱水容量	7.5 kg（乾布質量）	外形寸法	幅 570 × 奥行 560 ×高さ 990（mm）
洗濯方式	うず巻式	質量	約 34 kg
定格消費電力	430 W/460 W	電源電線の長さ	1.9 m

ハイセンスジャパン株式会社

〒212-0013　神奈川県川崎市幸区堀川町 66 番地 2

HJ240801-0